

ぐるり30

～自治調査会だより～

2021

4

NO. 091

[発行日]
2021.4.1



【写真提供】八王子市 【撮影場所】滝山観桜林

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ▶ 2021 年度 自治調査会の主な事業 …………… 2 | ▶ イベント紹介 …………… 8 |
| ▶ 2021 年度 調査研究テーマについて …………… 4 | 奥多摩セラピーウォーク |
| ▶ オール東京 62 市区町村共同事業 | ▶ 理事会を開催しました …………… 8 |
| みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 …… 6 | ▶ 多摩交流センターだより |
| 町田市 生物多様性保全推進事業 | ・東京雑学大学 2021 年 5 月講義案内 …………… 9 |
| 小金井市 環境配慮住宅型研修施設管理・運営支援委託事業 | ▶ 編集後記 …………… 9 |
| 大島町 地域に花を咲かせる事業 | ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～八王子市～ …………… 10 |
| ▶ みどり東京・温暖化防止プロジェクト 2021 年度事業の概要 7 | |

Contents

4月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

2021年度 自治調査会の主な事業

2021年度も、当調査会は、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題の調査研究、市町村共同事業の実施・助成等を行うとともに市民交流の推進を図り、市町村の振興に寄与する事業を次のとおり実施します。

1. 調査研究事業

- 多摩・島しょ地域における食品ロスの削減に関する調査研究
- DXを契機とした自治体による地域の課題解決に関する調査研究
- 基礎自治体におけるブロックチェーン技術の活用に関する調査研究
- 多摩・島しょ地域自治体における避難・避難所のあり方に関する調査研究
- 自治体職員に求められる情報分野の専門性に関する調査研究
- かゆいところに手が届く！多摩・島しょ自治体お役立ち情報

※調査研究内容の概要は、本紙4～5ページをご覧ください。

2. 実態調査事業

● 多摩地域ごみ実態調査(毎年度実施)

多摩地域の自治体の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的かつ横断的な統計データを作成します。

● 多摩地域データブック(毎年度実施)

今後のまちづくりや政策形成の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要分野の統計データ集を作成します。

● 市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標(毎年度実施)

多摩・島しょ地域市町村における財政力指数、公債費負担比率、経常収支比率等の分析指標及び市町村民税などの調定収入状況等のデータを作成します。 ※5ページでも紹介しています。

3. 共同事業

(1) 39市町村共同事業

東京都市長会・東京都町村会と連携し、「多摩・島しょ広域連携活動助成事業」、「多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業」を実施します。

(2) オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

都内62市区町村が、東京のみどりの保全や温室効果ガス削減への取組において連携・共同し、市区町村や地域の特性に応じた自然環境保護、温暖化防止対策の推進を図るため、7ページの事業を特別区長会・東京都市長会・東京都町村会・(公財)特別区協議会とともに実施します。

(3) 協賛事業

島しょ地域の子どもたちを対象に毎年実施される「愛らんどリーグ(サッカー大会)」に対し協賛します。

4. 普及啓発事業

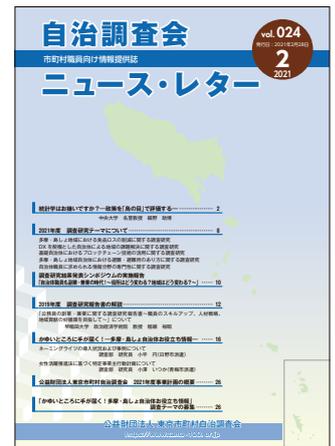
機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」やホームページ(<https://www.tama-100.or.jp>)などを活用して当調査会の活動内容を周知するとともに、多摩・島しょ地域に関する情報を発信します。

また、調査研究の成果などを広く周知するために、シンポジウムを開催するとともに、2020年度に実施した調査研究について、多摩・島しょ地域の市町村に出向いて職員向けに調査研究報告書の内容説明や解説を行う出張フォーラムを実施します。

さらに、市町村職員に向けた行政課題に関する情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」を発行します。



▲ぐるり39



▲ニュース・レター

5. 広域的な市民活動支援

(1) 交流の場の提供事業

会議室、市民交流・資料室などの施設・設備を持つ多摩交流センターにおいて、広域的に市民活動を行っている団体に、会議室及び機器類などを提供します。

(2) 助成事業

① 事業助成

市町村の枠を越えた広域的市民ネットワークを形成している団体が実施する地域づくり、まちづくりにつながる活動や、市民団体が主体的に取り組んでいる西多摩地域の振興活動に対し、経費の一部を助成します。

② 活動支援

広域的な市民ネットワーク活動を新たに行いたい、発展させたい市民団体に対し、経費の一部を助成します。

(3) 共催等事業

多摩地域の広域的な市民の交流や新しい生涯教育の推進を図るため、市民団体等と共催し、TAMA市民塾、多摩の歴史講座、TAMAとことん討論会などの事業を実施します。

(4) 情報発信事業

- 多摩地域に関する各種の情報を収集し、多摩交流センター市民交流・資料室において、配架・提供します。
- 機関紙「ぐるり39 ～自治調査会だより～」やホームページで、多摩交流センターに係る情報を発信します。
- 「TAMAらいふ21」に関する記録や資料などを公開します。

2021年度

調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題を中心に、年度毎にテーマを選定し、調査研究を実施しています。調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ(<https://www.tama-100.or.jp>)にも掲載し公開しています。

2021年度については、5件の調査研究実施を予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

多摩・島しょ地域における食品ロスの削減に関する調査研究

日本では、まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、年間約612万トンもの大量の食品ロスが発生しています。この状況を改善するため、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、市町村にも食品ロスの削減の推進に関する計画策定の努力義務が課されました。

本調査研究では、「ごみの減量」「食育」に偏ることなく、「貧困層への支援」など社会貢献意識の高まりにも目を向けるとともに、食品ロスの削減のあり方について検討することで、多摩・島しょ地域の自治体が食品ロスの削減に取り組む際に参考となる内容とすることを目的とします。

DX^{*}を契機とした自治体による地域の課題解決に関する調査研究

国は2020年12月に自治体DX推進計画を策定し、デジタル社会の構築に向けた取組を全自治体において着実に進めていくこととしています。今後さらに、各自治体で抱える地域課題の解決のためにもICTを活用できれば、自治体業務の変革となり住民の利便性の向上にもつながります。

本調査研究では、スマートシティの実現を念頭に置き、DXを契機とした自治体による地域課題の解決手法を探り、新たな住民サービスのあり方を検討することを目的とします。

※デジタルトランスフォーメーション

基礎自治体におけるブロックチェーン技術の活用に関する調査研究

ブロックチェーン技術とは、従来の中央サーバー管理型のシステムと異なり、参加する複数のパソコンで同じデータを共有する技術です。ビットコインなどの暗号資産(仮想通貨)に利用される技術としても知られており、障害に強く、データの改ざんが困難、コストが安いなどのメリットがあるとされています。

本調査研究では、ブロックチェーン技術の概要や特徴について、専門知識を持たない職員を含め理解を促すとともに、自治体における活用可能性や、この技術を活用することによる住民サービスの向上について調査、提案することを目的とします。

多摩・島しょ地域自治体における避難・避難所のあり方に関する調査研究

近年、各種災害が頻発する中、身近な体育館等公共施設への避難に加え、車中泊、広域避難など、多様な避難方法が考えられるようになってきたほか、プライバシー確保、雑魚寝の改善等、避難所においても良好な生活環境の確保が求められています。また、被災経験のある自治体では、災害に対する職員の意識の差があったなど、今後のあり方を考える上で考慮すべき課題が生じていました。

本調査研究では、災害時に住民の安全と良好な生活環境を提供するための仕組みについて研究するとともに、災害を我が事として考え、対応する心構えについて示すことを目的とします。

自治体職員に求められる情報分野の専門性に関する調査研究

多様化する地域課題に限られた労働力で対応し、行政サービスを維持するため、職員にも情報分野の専門性が求められています。また、今後新たな技術が身近になるにつれて、情報主管課だけでなく、各業務を担当する部署においても、業務に利用されるデジタル技術の正確性等を確認・検証することが求められる可能性もあります。

本調査研究では自治体職員に求められる情報分野の専門性を整理するとともに、今から人材確保に取り組む意義を明らかにし、人材確保に係る多様なあり方を調査研究することで、これからの人材戦略検討に資する内容とすることを目的とします。

毎年度調査

当調査会では、上記の単年度調査研究に加え、39市町村における行財政運営の参考となるように、各種統計資料を毎年度作成しています。

2021年度についても、以下のデータ集を作成し、上記の単年度調査研究と同様に配布・公開する予定です。

○多摩地域ごみ実態調査

多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する情報を調査し、基礎的な統計データ集を作成します。

○多摩地域データブック

今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」「産業」「都市基盤」など主要な統計データ集を作成します。

○市町村税政参考資料・市町村財政力分析指標

39市町村における、財政力指数・公債費負担比率・経常収支比率等の分析指標及び市町村税徴収実績等のデータ集を作成します。

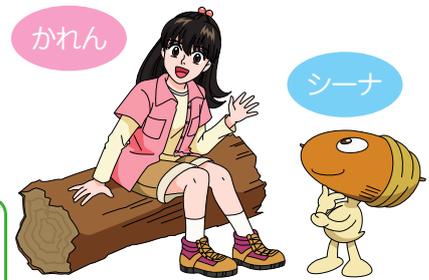


オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介いたします。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

1 町田市

生物多様性保全推進事業

町田市では、市内の生きものや自然に興味や愛着を持ってもらうこと、生息情報の収集などを目的として、スマートフォンのアプリ「まちピカ町田くん」を使った調査「生きもの発見レポート」を行っています。この調査では、野生の生きものの写真と発見場所をいつでも手軽に投稿できます。2020年度もたくさんの投稿が寄せられました。町田市ホームページでは新着情報や「まちだ生きものアルバム」(過去の投稿)などを公開していますので、是非一度ご覧ください。写真は、夏に行ったキャンペーンを紹介したポスターです。

【問合せ先】町田市 環境・自然共生課 TEL 042-724-4391



2 小金井市

環境配慮住宅型研修施設管理・運営支援委託事業

小金井市では、小金井市環境配慮住宅型研修施設(愛称・環境楽習館)の管理運営に活用しています。当施設は、「平成23年度東京都地球温暖化対策等推進のための区市町村補助金」を活用し、身近な自然エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るモデル住宅として建設されました。市民・事業者・教育機関と協働し、地域をあげて地球温暖化防止に取り組むため、環境に関する情報を発信するとともに環境学習の場を提供し、市民活動の活性化、人材の育成及び環境学習を推進する場となっています。

ぜひ一度ご来館いただき、自然の力を感じてください。

【問合せ先】小金井市 環境政策課 TEL 042-387-9817



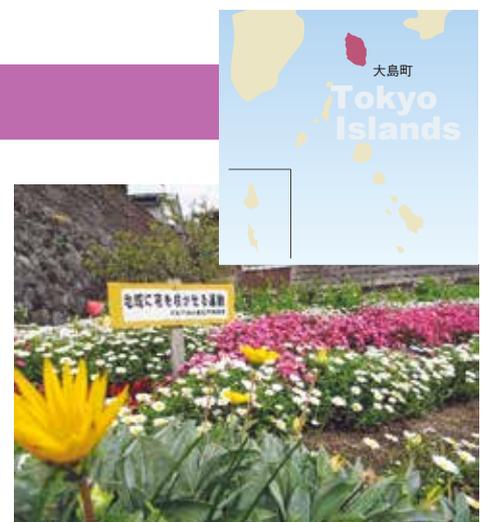
3 大島町

地域に花を咲かせる事業

大島町では、町内各地区の婦人会が主体となり、地域に花を咲かせる事業を実施しています。地域ごとの主要道路沿いにある花壇や空き地などに、季節ごとに咲く花を咲かせ、島民や観光客にやすらぎと小さな感動を与えることを目的に事業を実施しています。また、海岸線に多く繁殖している「クロマツ」などの景観を保つため、松枯れ対策も実施しています。

これらの事業を継続し、花と緑にあふれたまちづくりと、さらなる地域コミュニティの活性化をめざしていきます。

【問合せ先】大島町 政策推進課 TEL 04992-2-1444





オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

2021 年度事業の概要

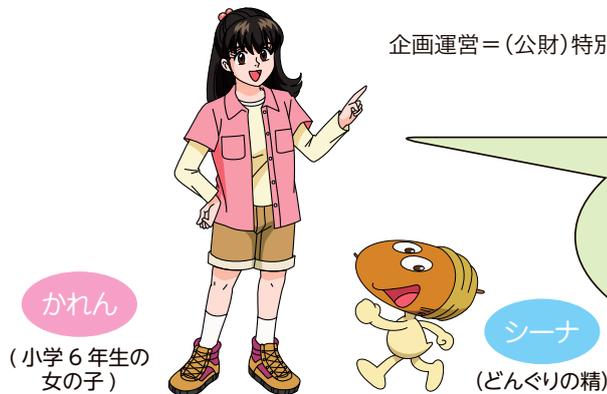
オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、東京で暮らす私たちにとって大きな課題である温室効果ガスの削減やみどりの保全について、東京都内の全62市区町村が連携・共同して取り組む事業です。62市区町村の共同の輪を大きく広げることによって、各市区町村や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。

スタートから15年目となる2021年度は、2019、2020年度に行ったこれまでの事業の検証及び今後の事業の検証をもとに、近年の環境情勢や国の環境施策の動向等を踏まえながら、次の6つの事業を実施します。

【2021年度事業】

| | |
|-------------------------------|--|
| ①標準算定手法による温室効果ガス排出量算定の共有化推進 | ○62市区町村共通の標準算定手法により、温室効果ガスの排出量を算定して公表し、市区町村の計画等の基礎データとして役立てます。 ○市区町村ごとのデータの分析を積み重ねていきます。 |
| ②各団体の実施する事業との連携 | ○62市区町村が実施する環境事業に、1市区町村100万円を限度として助成します。 ○各自治体の成果をホームページ等でPRしていきます。 |
| ③ホームページの維持管理 | ○ホームページ「ECOネット東京62」(http://all62.jp/)において、「環境事業紹介」、「環境インフォメーション」等のコンテンツを提供し、当共同事業の普及・啓発に努めます。 |
| ④気候変動対策に関する調査研究(新規事業) | ○「脱炭素」を目指す「緩和策」と「適応計画」策定に向けた「適応策」の両面について、62市区町村が実効性のある取組を推進できるよう研究面から支援を行います。 |
| ⑤オール東京62環境担当者研修会(新規事業) | ○市区町村の実情ニーズを踏まえ、複数のテーマを用意し環境分野の知見等に関する研修を行います。 ○情報共有の場の設定、市区町村の職員が参加しやすいようリモート方式等の活用を行います。 |
| ⑥市区町村等主催イベントでのPR、普及啓発展示(新規事業) | ○62市区町村等が主催するイベント等の会場内で、プロジェクトのPRやCO ₂ 削減につながる活動の普及啓発を行います。 |

この事業は、(公財)東京都区市町村振興協会からの助成金により、
主催＝特別区長会・東京都市長会・東京都町村会、
企画運営＝(公財)特別区協議会・(公財)東京市町村自治調査会で実施しています。



詳しくは、
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の
ホームページをご覧ください!

<http://all62.jp/>

広域的市民ネットワーク活動支援 申請団体募集中!

多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとお考えの市民団体を対象に、活動の発表の場等の経費の一部を助成する制度です。

随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

[問合せ先] 公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課

TEL 042-382-7781

詳細はこちら▶



イベント紹介

奥多摩セラピーウォーク

日 時 2021年4月29日(祝)

受付時間 9:00~11:00(荒天の場合中止あり)

受付場所 JR奥多摩駅前

コ ー ス JR奥多摩駅~奥多摩むかしみち~奥多摩湖(10km 4時間)

内 容 奥多摩むかしみちは、都内で初めて森林セラピー基地として認定された奥多摩町にある5つのセラピーロードのうちの1つで、今も随所に昔そのままの姿が残されています。奥多摩駅をスタートし、昔をしのびながら、ゴールである奥多摩湖をめざして新緑あふれる奥多摩の自然を満喫できるコースです。参加者にはコース途中で奥多摩名人・達人ガイドたちによる名所案内があります。奥多摩の新緑をお楽しみください。

参加費 500円(受付時に支払い、保険料含む)

主 催 奥多摩セラピーウォーク実行委員会

問 合 せ 奥多摩セラピーウォーク実行委員会事務局(奥多摩町役場観光産業課内)

T E L 0428-83-2295 F A X 0428-83-2344

ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp>



©奥多摩町観光産業課

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容変更、中止となる可能性があります。
最新の状況は、上記ホームページを確認いただくか、事務局へお問い合わせください。

理事会を開催しました

2021年2月19日(金)に、2020年度第5回理事会を東京自治会館で開催しました。今回の理事会で決議された主な内容を紹介します。

1. 2021年度事業計画及び収支予算

本紙の2ページから3ページにかけて紹介しました自治調査会の主な事業の計画と、その実現に必要な収支予算が承認・決定されました。

2. 公益財団法人 東京都都市づくり公社との連携

調査研究に関して連携・協力していくことを提案し、原案のとおり承認・決定されました。

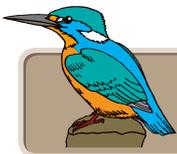
なお、4月1日現在の理事・監事・評議員は下記のとおりです。

【役員】

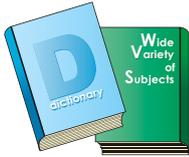
| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|------|-------------------|
| 理 事 長 | 清水庄平 | 立 川 市 長 |
| 副理事長 | 杉浦裕之 | 瑞 穂 町 長 |
| 常務理事 | 小暮 実 | 東京都市長会 事 務 局 長 |
| 理 事 | 浜中啓一 | 青 梅 市 長 |
| 理 事 | 小林正則 | 小 平 市 長 |
| 理 事 | 大坪冬彦 | 日 野 市 長 |
| 理 事 | 並木 心 | 羽 村 市 長 |
| 理 事 | 前田福夫 | 利 島 村 長 |
| 監 事 | 阿部裕行 | 多 摩 市 長 |
| 監 事 | 坂本義次 | 檜 原 村 長 |

【評議員】

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 |
|-------|-------|-------------|
| 評 議 員 | 白井伸介 | 昭 島 市 長 |
| 評 議 員 | 長友貴樹 | 調 布 市 長 |
| 評 議 員 | 石阪丈一 | 町 田 市 長 |
| 評 議 員 | 西岡真一郎 | 小 金 井 市 長 |
| 評 議 員 | 渡部 尚 | 東 村 山 市 長 |
| 評 議 員 | 井澤邦夫 | 国 分 寺 市 長 |
| 評 議 員 | 永見理夫 | 国 立 市 長 |
| 評 議 員 | 加藤育男 | 福 生 市 長 |
| 評 議 員 | 並木克巳 | 東 久 留 米 市 長 |
| 評 議 員 | 青沼邦和 | 新 島 村 長 |
| 評 議 員 | 前田 弘 | 神 津 島 村 長 |
| 評 議 員 | 山下奉也 | 八 丈 町 長 |



多摩交流センターだより



特定非営利活動法人

東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

2021年5月講義案内

(受講料: 会員は無料・会員外は1回につき500円)

| 日時 | 講義テーマ | 教授 | 教場 |
|---------------------|---------------------------|--|---|
| 5月6日(木) 14:00から | 自然への招待 —生態学の視点から— | 三島 次郎 氏 (桜美林大学名誉教授・元筑波大学教授) | 小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F) |
| 5月13日(木) 14:00から | 防災福祉コミュニティの必要性 | 川村 匡由 氏 (武蔵野大学名誉教授) | コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分) |
| 5月20日(木) 14:00から | 感染症と近代文学 | 大和田 茂 氏 (法政大学講師) | 小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F) |
| 5月27日(木) 14:00から | モリカケサクラと 国連の古文書管理を比較する | 小川 千代子 氏 (国際資料研究所・元国立古文書館・ 元藤女子大学教授) | 小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F) |

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocon.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、5月講義を中止させていただく場合があります。
詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

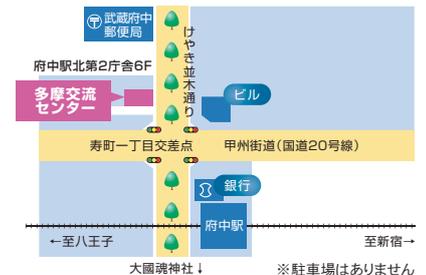
(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 4月となりました。皆さんの周りには、新入学、新入社員や人事異動などで新生活をスタートさせた方も多いと思います。当調査会も異動で職員が変わり新しい体制のもと事業に取り組んでまいります。
- 4月といえば花見、花見といえば桜と答える人が多いのではないのでしょうか。毎年4月上旬にかけ、桜が名所の公園などは大勢の花見客で賑わいますが、昨年同様コロナ禍の今年も、花見などの行事を控えるよう要請が出されており、満開の桜を気兼ねなく楽しめないのは非常に残念でなりません。
- 花見の起源は古く、奈良時代に貴族が梅を見て楽しんだのが始まりといわれ、梅から桜に変わったのは平安時代。鎌倉・室町時代に武士階級に花見の風習が広まった後、豊臣秀吉が催した大規模な花見が庶民にも伝わり、江戸時代に一般的な行事として根付いたようです。梅から桜へと、花見の歴史が千数百年を超えて受け継がれていることには驚かされます。
- 日本の桜の約8割はソメイヨシノといわれていますが、地球温暖化の影響で年々開花が早くなっています。気象庁の統計では4月1日までに開花するところは、1960年代では本州の太平洋沿岸と四国、九州だったのが、2000年代では関東、東海、近畿、中国地方まで北上しています。地球温暖化がさらに進行すると近い将来、満開にならなったり、咲かない地域が出てくると危惧する専門家もいます。桜は、夏に花芽ができ、冬の始めに眠りに入って、真冬の寒さにさらされることで目を覚まします。これを「休眠打破」といいますが、花芽は目覚めた後、暖かさによって成長し、春に開花します。温暖化で一定期間の寒さにさらされない目覚めがおそく開花が遅れたり、目覚めた後に暖かい日が続くと開花が早まります。実際、歴史的暖冬だった2007年は、八丈島の桜は開花が遅れ満開にならなかったといえます。
- 近年、地球温暖化による気候変動がもたらす影響は世界各地で深刻さを増しています。日本各地においても記録的な暑さや台風、豪雨災害など気候変動による被害が頻発し、異常気象により、季節外れの草花が咲くなど日本の四季にも大きな影響を及ぼしています。「気候危機」ともいわれるこうした「気候変動」を抑えるため、世界の平均気温上昇をよりリスクの低い1.5℃に抑えるよう、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ(脱炭素)を目指した取組が日本を含め世界的に加速しています。当調査会でも、今年度から「気候変動に関する調査研究」事業を展開し、各自自治体が実施する「脱炭素」を中心とする「緩和策」と「適応計画策定」に向けた「適応策」を支援することで、地球温暖化の抑制に寄与していきたいと考えています。
- 桜は春の訪れを告げる代表的なものです。日本人は古くから四季の移ろいや自然美を感慨深く感じ大切にしていますが、将来にわたりこれらの豊かな日本を子孫に引き継いでいくことが私たちの使命だと思います。そのためには、「脱炭素」に向けた取組などを率先して実践していきたいと考えます。(K. K)



とっておき歴史発見



第1回

八王子市

身近な場所で歴史を発見! 今回はわたげのボクが「八王子城跡」と「滝山城跡」を紹介するよ。

先月号までは多摩・島しょ39市町村の「とっておきフォトスポット」を紹介してきました。今月号からはお住まいの地域や身近な場所で感じられる「とっておき歴史発見」を紹介します。



八王子城跡



八王子城は、小田原に本拠をおいた小田原北条氏の三代目、北条氏康の三男、氏照が築いた関東屈指の山城だよ。

戦国の山城としての状態を良く残していることなどから、2006年4月に日本城郭協会より「日本100名城」に選定されたんだって。

八王子城の歴史などを、初めて訪れた方にもわかりやすく解説するガイダンス施設が設置してあるよ。



滝山城跡



国史跡に指定されている滝山城跡は全国でも有数の中世城郭跡なんだって。2017年4月に日本城郭協会より「続日本100名城」に選定されたよ。

現在では都内有数の桜の名所地にもなっているよ。

2021年に滝山城は築城500年を迎え、様々な記念事業が実施される予定なんだって。



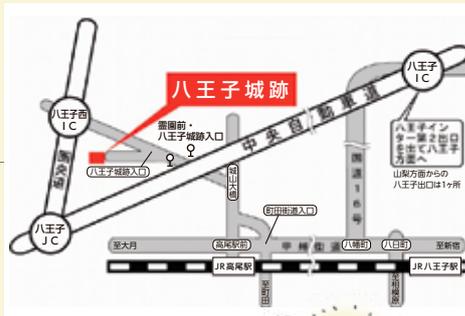
【現地案内】

◆八王子城跡

JR高尾駅北口1番バスのりばから、西東京バス「高尾の森わくわくビレッジ」「宝生寺団地」「恩方ターミナル」「大久保」「大久保・陣馬高原下」「グリーンタウン高尾」「美山町」行きで、バス停「霊園前・八王子城跡入口」下車、徒歩約20分
※土曜日・日曜日・祝日のみ、JR高尾駅北口1番バスのりばから、「八王子城跡」行が運行されます。

◆滝山城跡

京王八王子駅・JR八王子駅北口から戸吹行き・秋川駅行き・戸吹スポーツ公園入口行きバスで「滝山城址下」下車、徒歩約15分



【情報・写真提供】

八王子市 観光課

本紙の記事内容や、多摩・島しょ地域に関して取り上げてほしい内容に関するご意見・ご要望は、右記ホームページの問合せフォームにお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年4月1日

【発行】公益財団法人 京都市町村自治調査会

【責任者】小暮 実

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。